

確実に国試合格を目指すための方法！！

【覚えるのではなく、理解する学習をさせること】

- ★ E P A受け入れが開始され、既に8年目となった。介護士不足は、国家の重要問題となっている。介護分野における労働力不足の解決策としては、E P A協定に基づく、外国人の労働力が期待された。
- ★ しかし、外国人介護士の合格者数が余りにも少ないために、問題を解消する一つの方法としては、有効な結果を出し得ていない。（表1参照）
- ★ この実態の原因は、受験者に対する具体的な受け入れ知識を、施設が持っていないことが、大きな障害となっている。なお、「助成金」の使途が「言語能力を養う」ために、適切に使われていないことも、合格者を増せない原因ともなっている。
- ★ また、国家試験に合格しても帰国したり、短期間で離職したりするために、施設の労働力不足の解消に繋がっていないことも、重要な問題点だ。
- ★ よって、弊社では本号で、確実に受け入れ施設が「労働力確保」を実現するために、【人材育成三年間計画】を提案することとした。

表1、【入国者数等と合格者の累積人数】

入国者数等	合格者数	合格率
519人	241人	46.4%
※ 事業団調べ		

I、「三年計画」を確実に実行すること

【1、人材教育は現場ではなく、総務・人事が行う】

- 受験者の言語能力を「客観的に観る」ためには、第三者である部署が人材育成をすることが重要と言える。
- なぜならば、現場では多忙の上、受験者を客観的に評価する環境が整っていない。そして、日本人と同等に業務ができない受験者に対し、心理的に職員が不平不満を起こす環境がある。
- 客観的に観察できる部署の者は、国家試験合格を確実にさせるための「計画案を実行できる」部署でもあり、人材育成指導力もあるためだ。
- 言語能力育成に関しては、特に「能力育成の到達度」を定期的に観察することができる。その結果、客観性に基づいた判断が受験者に対しての適切な指導となるために、有効なのだ。

【2、日本人介護士は、日本語教育者ではないことを、認識するべき】

- 日本人の傾向として、「日本語ぐらいは教えられる」という「安易な気持ち」で、外国人対応をしている人々が沢山いる。
- しかし、その内容は「言葉の説明役」に終始して、いわゆる「ワンウェイ教育」になっている。受験者の反応が分かったような反応をすれば、本当に分かったかと思込むのが素人だ。
- 指導者が言葉の定義や、類似語の区分が曖昧になると、ごまかして対応する。
- 受験者は日本人の機嫌を損なわないように、反応していることを知るべきだ。また、積極的に受験者からの質問を受けない限り、言語能力は養えないことを、肝に銘じるべきだ。
- 即ち「日本語を教える」とは、【日本語の規則性と用法、並びに、運用】を論理的に理解していない者が教えると、「言語障害者」を生み出す危険性が、多々あることを知るべきだ。

【3、表2の通り、年単位で言語能力を養う】

- 確実に国家試験合格能力を養うためには、言語能力の区分を明確に定めて、「目的に合わせた教育指導を行う」ことを、基本原則として位置づけるべきだ。
- 表2の通り、三年目までの期間を【言語能力育成期間】と捉えるべきで、「国家試験問題は日本語表記」であることを再認識して、具体的な指導を行うべきだ。各年の詳細については、【月報】を参考にすること。

表2、【国家試験に向けての育成段階】

三年目 国試合格能力育成
二年目 国試対応能力育成
一年目 言語能力育成



Ⅱ、各年の「学習内容」を身につけさせること

【1、教育指導者は、言葉の説明をしない】

- 今までの受験者の多くの声は、教育指導者の日本語が聞き取りできないままに、長時間の学習を否応なく受けさせられていたという事例が、数多く報告されている。
- 特に、研修会等の教育は、指導者の言葉が半分以上理解できない状態で終わっており、研修後の感想を聞くと、何の学習をしたのかがよく分かっていない。感想のほとんどが、同期同国者との交流が楽しくて、会話は母国語で弾んだことが報告されている。
- 左記の件を考慮すると、受験者のほとんどは「理解していないにも関わらず、分かった反応を示す」傾向が強く、それを指導者が誤認して、理解しているものと思っていることが分かる。
- 【言葉の説明】を行う前提条件は、受験者の聴解力が無い限り、「馬に念仏」状態と言え、全く無駄な努力だ。

【2、日本語の「規則性と用法、並びに運用力」を養う】

- 外国人から日本語を観た場合は、非常に「難しい言語」と捉えている者が多い。日本人が使っている言語は、国語であるが、同時に、日本語でもある。
- よって、母語者であるが故に【規則性とか用法とか運用力】は、意識せずに成長と共に体得しているものだ。だから、日本人は母語を難しい言語と思っていないのだ。
- 外国人は、日本語を理解するためには絶対に【規則性と用法、並びに運用力】に対して、理解できない限り日本語力を養うことができない。
- 表3を観ると明らかのように、外国人にとってはまず第一に、【規則性の理解力】が不可欠で、この規則性を理解できない限り、「言葉の操り方（用法）」には理解ができない。そして、「運用力」は決して身につかないのだ。

表3、【規則性と用法と運用の関係】



【3、国語教育と日本語教育を、混在した指導はしない】

- 国語教育の学習者は母国人であり、日本語の場合は外国人であることが、絶対条件だ。即ち、国語教育の目的は母語者に対して、「母語を正しく理解させると共に、適切に使える能力を養うこと」が、学習目的だ。
 - 多くの指導者は、「日本人だから日本語ぐらいは教えられる」と当初は思い、外国人に指導し出す場合が多い。しかしながら、外国人が段々言語力を身につけた段階から、理解できない内容に対しては、質問するようになる。その際、指導者は国語教師と同じように、【同じ文化の中で生活している者同士であるために、馴れ合いと妥協の教育】をしてしまう傾向がある。
 - 即ち、【これはこういうものだ】とか、【観念的に押さえつけた指導】をすることで、質問攻めから逃れていく指導者が、介護分野の教育の中でも多くみられる。
 - EPA受験者に対して、上記のような国語教育を想定して日本語教育を行った場合には、同一文化人でないために、【日本人感覚の対応】では通用しないことに気づかざるを得ない。その結果、指導者としての自信を失うことになり、その場限りの方便で「ごまかしの指導」をすることになる。これは、「受験者に対する背信行為」と言える。
 - 外国人にとって日本語は、あくまでも一つの外国語として位置づけていることを、認識すべきだ。
 - 外国語としての日本語教育を行うためには、成人である受験者が論理的に理解できる教育指導を行わなければならない。論理的な理解を得るためには、万国共通の言語教育で最も重要な【概念の相違に対する理解】を意識的に指導する必要がある。
 - 【概念の相違】とは、「文化の違いによって、物の見方と考え方」の相違があることを、認識させることだ。
- ※※ 下記の問題に答えられるのが、日本語教育指導者と言える。
- ＜日本語の形容詞の例＞
「い形容詞」と「な形容詞」の違いは、何ですか。そして、その違いの規則性は何ですか。教えてください。（教えられますか？）

- 我が社が「スカイプ授業」を開設して、約一年間が過ぎようとしている。この間、全国各地の病院や施設から「スカイプ授業」の申し込みがあり、既に多くの受験者が参加して学習している。

- 「スカイプ授業」の特徴は、教育効果が1回の授業だけでも、すぐに表れることだ。特に、受験者の「つたない会話力」が目に見えて向上して、「瞬時反応能力」が身につくことだ。

スカイプ授業の教育効果の声

「学習姿勢に大きな変化」

- 病院の職員が3年間も、試行錯誤しながら教育指導をしてきたが、日本語力が一向に向上しないために、教育相談をした後に、最後の頼みとして【到達度試験の併用型】に参加した。
- 1回目のスカイプ授業を終えただけで、会話力が目に見えて変化しており、ビックリした。さらに、学習に対する姿勢が以前とは全く違って、積極的な姿勢に変わったことにも驚いた。また、職員に質問することが非常に多くなった。
(鹿児島県・フィリピン人)

「自信がついたスカイプ授業」

- ベトナム人はN3の資格をとっているのに、日本語力はあると聞いていたが、受け入れてみると、実際にはほとんど日本語力が無いために、【到達度試験の併用型】に参加した。
- 初めて受けたスカイプ授業で、想像以上に会話に変化が生まれて、驚いた。そして、文を読む時や、会話の時などに「瞬時反応能力」が身についてきた。
- 今までの会話では小さな声で話していたが、今は自信がつき、会話の声が大きくなって、はっきりと意思表示できるようになった。
(愛媛県・ベトナム人)

「来日2年目で、N1合格を目指す」

- 今年の12月で、在日期間が2年間になる。入職直後から【到達度試験】に参加して、日本語力は、日本人と同等レベルの国試3段階を今年の7月に合格した。
- 日本語力は【到達度試験】のおかげで、十分な状態に1年になった。現在は、スカイプ授業を受けながら、介護専門書を読み、受験対策に入っている。しかし、受験日までには、まだ1年以上あるために、専門知識を中心に学習している。

- 国家試験対策は受験者自身で行っているが、来日1年目でN2は既に合格しているので、N1を目指して現在、勉強している。実践力のある人材育成ができて、将来が楽しみだ。
- 特にスカイプ授業では、日本語力を高めるだけでなく、日本事情を幅広く習得できるようにして、さらに、日本語の語感や文調の違いを学習している。(岩手県・インドネシア人)

合格率
80%

スカイプの
強み！！

教育効果の高い、スカイプ授業！！

- ※ 本「スカイプ授業」は助成金の範囲内で参加できます。
- ※ 御希望の方はお問い合わせ下さい。 電話：086-431-3481

1. 会話をしながら、Eラーニングではできない「疑問点をその場で理解できる。」
2. 受験者の「聴解力と会話力」が重なるごとに身につく。
3. 教師と共通のテキストを使い、「読解力と構文力」が身につく。
4. 瞬時反応能力を養え、「難解な熟語漢字対応能力」が身につく。
5. 学習計画に基づいて、確実に「国家試験受験能力」が身につく。
6. 専門書を使うために、学習と同時に「専門知識」を身につけ合格能力が高まる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い諸技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は、平成 24 年度国家試験で受験者数 95 名中 36 名が合格し、その 36 名中 19 名 (52.7%) がこの【到達度試験】を受けた受験者でした。 25 年度では、128 名の国家試験合格者のうち、【到達度試験】参加者は 76 名で、合格者は 68 名 (89.4%) でした。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で働く人間として必要な言語能力を養うことを重要視した学習方法です。 さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、病院や介護施設などで実践力のある要員として育成することを目的としています。 定期的試験結果を数値化し、職員に指導の仕方を考察票でお送りしておりますので、安心してご指導頂けます。 是非、ご参加下さい。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職 域 言 語 能 力 を 養 う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」(漢字 熟語)と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 (語彙力・文意力)に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生 活 言 語 能 力 を 養 う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基 礎 言 語 能 力 を 養 う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字(ひらがな・カタカナ・ 漢字)・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		

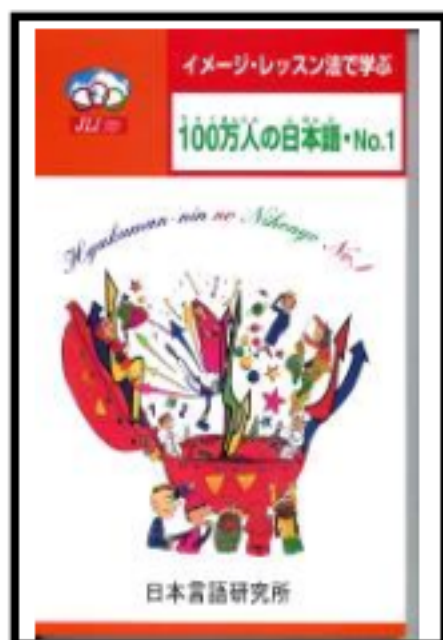
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

スカイプ・教材の問い合わせ先
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

主教材

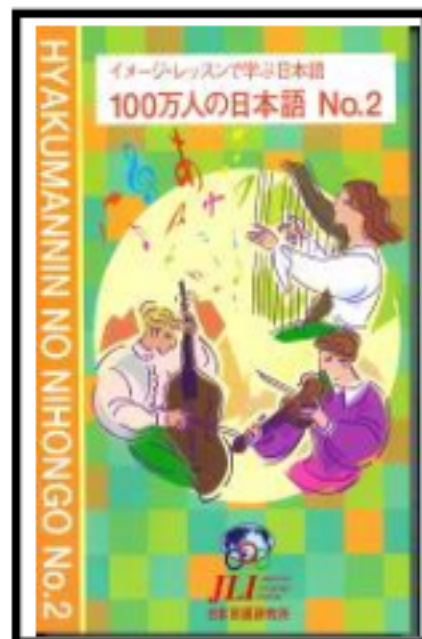
基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】
ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての
言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・
存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成
となっています。(2,805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字

※ 習得語彙数 520 語～1560 語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】
会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話文
を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解
しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得
できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現
力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語
のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】
日本社会に適應できる人間関係を理解
して、目上の人に対する礼節を保つ表
現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書け
ると同時に、漢字熟語を使った要約文
を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を
引いて調べることができます。(3,300 円)

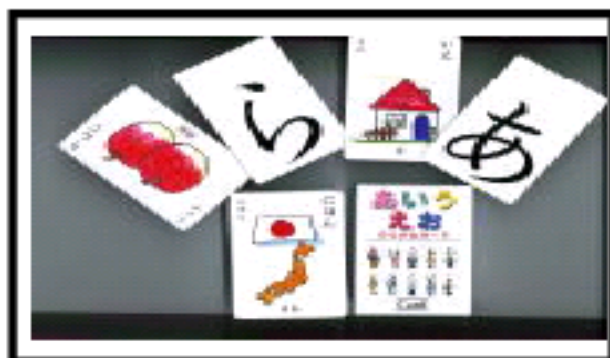
※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！
教育効果の高さ
副教材

基礎言語能力レベル

手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

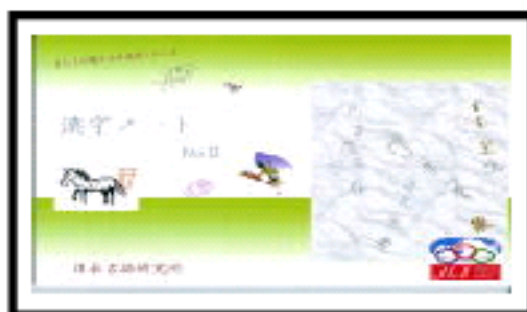
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその言出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)